

令和 2 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	エネルギーパークかごしま推進事業																																														
補助事業者名	鹿児島県																																														
補助事業の概要	<p>再生可能エネルギー推進委員会の開催、エネルギーマネジメント等による地産地消の検討、将来的な水素利用のビジネスモデル構築の検討等を行った。</p> <p>1 再生可能エネルギー推進委員会事業 2 エネルギーをシェアするまちづくり事業 3 水素エネルギー利用促進事業</p>																																														
総事業費	31,850,354円																																														
補助金充当額	31,850,354円																																														
定量的目標	<p>1 再生可能エネルギー推進委員会事業</p> <p>「再生可能エネルギー導入ビジョン 2018」に掲げる再生可能エネルギーの導入目標（2022 年度末）を達成する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>目標(2022)</th> <th>対 2016 比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">発 電</td> <td>太陽光</td> <td>2,970,000kW</td> <td>2.20 倍</td> </tr> <tr> <td>風力</td> <td>371,000kW</td> <td>1.41 倍</td> </tr> <tr> <td>水力</td> <td>277,000kW</td> <td>1.06 倍</td> </tr> <tr> <td>うち小水力</td> <td>25,890kW</td> <td>2.44 倍</td> </tr> <tr> <td>地熱</td> <td>71,000kW</td> <td>1.15 倍</td> </tr> <tr> <td>うちバイナリー</td> <td>10,900kW</td> <td>6.90 倍</td> </tr> <tr> <td>バイオマス</td> <td>228,000kW</td> <td>2.53 倍</td> </tr> <tr> <td>海洋エネルギー</td> <td>数例作る</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">熱 利 用</td> <td>太陽熱</td> <td>44,000kL</td> <td>1.01 倍</td> </tr> <tr> <td>バイオマス熱</td> <td>168,000kL</td> <td>1.56 倍</td> </tr> <tr> <td>温泉熱</td> <td>事例を増やす</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>地中熱</td> <td>300kL</td> <td>1.59 倍</td> </tr> <tr> <td>燃料 製造</td> <td>バイオマス燃料製造</td> <td>500kL</td> <td>2.79 倍</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 エネルギーをシェアするまちづくり事業</p> <p>「エネルギーをシェアするまちづくり」の仕組みや意義等について理解を広めつつ、事例としての実証事業の構築を目指す。</p> <p>「エネルギーをシェアするまちづくり」の新たな事例の増加を目指す。</p> <p>現状：1 件 → 3 件以上※現状の件数を含む。</p>	区分		目標(2022)	対 2016 比	発 電	太陽光	2,970,000kW	2.20 倍	風力	371,000kW	1.41 倍	水力	277,000kW	1.06 倍	うち小水力	25,890kW	2.44 倍	地熱	71,000kW	1.15 倍	うちバイナリー	10,900kW	6.90 倍	バイオマス	228,000kW	2.53 倍	海洋エネルギー	数例作る	—	熱 利 用	太陽熱	44,000kL	1.01 倍	バイオマス熱	168,000kL	1.56 倍	温泉熱	事例を増やす	—	地中熱	300kL	1.59 倍	燃料 製造	バイオマス燃料製造	500kL	2.79 倍
区分		目標(2022)	対 2016 比																																												
発 電	太陽光	2,970,000kW	2.20 倍																																												
	風力	371,000kW	1.41 倍																																												
	水力	277,000kW	1.06 倍																																												
	うち小水力	25,890kW	2.44 倍																																												
	地熱	71,000kW	1.15 倍																																												
	うちバイナリー	10,900kW	6.90 倍																																												
	バイオマス	228,000kW	2.53 倍																																												
	海洋エネルギー	数例作る	—																																												
熱 利 用	太陽熱	44,000kL	1.01 倍																																												
	バイオマス熱	168,000kL	1.56 倍																																												
	温泉熱	事例を増やす	—																																												
	地中熱	300kL	1.59 倍																																												
燃料 製造	バイオマス燃料製造	500kL	2.79 倍																																												

	<p>3 水素エネルギー利用促進事業</p> <p>本事業において、官民連携での水素利用（導入）に向けたモデル構築の検討や、水素需要の創出または産業化に向けた取組などの事業化に向けた支援を行うことにより、県内の新産業の創出や、地域活性化を実現する。</p> <p>水素エネルギーの活用等に係る具体的な事業形成数 現状：0件 → 1件以上</p> <p>さらに、FCVキャラバンの開催により、県民に対する水素エネルギーの利便性やFCV導入意義に対する理解促進に繋げ、本県のFCV普及拡大により、水素エネルギーの初期需要創出を目指す。</p> <p>本県の燃料電池自動車導入支援台数 令和元年度：1件 → 令和2年度：4件以上</p>
<p>補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）</p>	<p>1 再生可能エネルギー推進委員会事業</p> <p>2019年度末時点で目標に対し69.4%の達成率となっている。2020年度は高川ダム発電所（水力）や枕崎木質バイオマス発電所などが稼働するなど、目標達成に向け再生可能エネルギーの導入が進んでいる。</p> <p>2 エネルギーをシェアするまちづくり事業</p> <p>「エネルギーをシェアするまちづくり」の新たな事例の増加を目指す。</p> <p>現状：1件 → 3件以上※現状の件数を含む。 実績：事例：1件</p> <p>具体化に向けた実証事業プラン：2件</p> <p>具体的な事業化には、予算確保から設備導入まで複数年の期間を要するため、新たな事例の増加には至っていない。</p> <p>今後は、今年度作成した実証事業プランの具体化に向けたサポートを行い、事例の増加を目指す。</p> <p>3 水素エネルギー利用促進事業</p> <p>水素エネルギーの活用等に係る具体的な事業形成数 現状：0件 → 1件以上（実績0件）</p> <p>地熱を利用したグリーン水素製造や温泉熱の多段階利用などの構想があったが、実現に至らず形成数が0件となった。今後は水素エネルギーに関する理解促進をより醸成する取組を実施する。</p> <p>本県の燃料電池自動車導入支援台数 令和元年度：1件→令和2年度：4件以上（実績：3台）</p>

	2021年2月末現在の県内FCV登録台数は34台となり、これまでの普及啓発効果が得られている。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	鹿児島県水素利用ビジネスモデル構築検討事業業務
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方(間接補助先)	デロイトトーマツコンサルティング合同会社
	契約金額(間接補助金額)	12,999,243円
	契約(間接補助)の目的	FCV(燃料電池自動車)キャラバン企画・運営業務
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方(間接補助先)	一般財団法人 鹿児島県環境技術協会
	契約金額(間接補助金額)	1,900,000円
	契約(間接補助)の目的	① 「エネルギーをシェアするまちづくり」実証モデルの検討, 実証事業計画の作成 ② 事業化検討会議の運営 ③ 概略モデルおよび実証モデルの周知
	契約の方法	随意契約
契約の相手方(間接補助先)	株式会社 建設技術研究所 鹿児島事務所	
契約金額(間接補助金額)	16,632,000円	
来年度以降の事業見通し	<ul style="list-style-type: none"> ○ 再生可能エネルギー推進委員会において推進方策や次期再エネビジョン骨子の検討を行う。 ○ 自治体担当者会議を開催し、再生可能エネルギーの導入に関する情報共有・連携協力の推進を図る。 ○ 水素利活用促進検討協議会において県内での水素利用の具体化に向けた検討等を行う。 ○ 県内各地に「エネルギーをシェアするまちづくり」を広めるため、新たな市町村を選定し実証事業計画の策定を行う。 	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる

限り数値を用いて記載すること。

4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。

5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。